

# 令和6年度 学校経営の方針

松阪市立小野江小学校

## I 学校教育目標

### 学校教育目標

主体 協働 追究 ～小野江の「つよく やさしく ひろい心」が育ち合う～

### めざす子ども像

主体 自分から行動できる子ども  
協働 仲間を思いやり、ともに取り組む子ども  
追究 自信をもって、挑戦し続ける子ども

### めざす教職員像「伸ばす」

主体 自分の課題として取り組む教職員  
協働 協力し、助け合い、育ち合う教職員  
追究 本物をめざし、究めようとする教職員

### めざす保護者像「育む」

主体 自らの課題として取り組む保護者  
協働 協力し、助け合い、育ち合う保護者  
追究 子どものよりよい未来を育む保護者

### めざす地域像「支える」

主体 自らの課題として取り組む地域  
協働 協力し、助け合い、育ち合う地域  
追究 保護者と子どもをどこまでも支える地域

## II 重点目標

- (1) コミュニティ・スクールの取り組みを充実し、保護者・地域との連携を強化する。
- (2) 「武四郎学習」を中心として、地域に学ぶ学習を推進する。
- (3) ICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりの研修を進める。
- (4) 子どもたちの笑顔、教職員の笑顔のために、教職員の勤務時間縮減を図る。

## III 具体的な取組と目標

### (1) コミュニティ・スクールの推進

- ① 地域教材を活用したり、地域の方々から学ぶ体験活動に取り組んだりすることにより、地域を愛する心を育む。
- ② 「熟議」を実施し、学校・保護者・地域が「めざす地域像」を共有する。
- ③ ボランティアとともに、図書室活用や学校環境整備など、教育環境の充実を図る。

### (2) 地域とともに取り組む学習活動

- ① 地域に学ぶ機会の充実を図ることにより、地域の一員として自分にできることを考える。
- ② 「武四郎学習」をカリキュラムに位置づけ、地域人材を活用して充実を図る。
- ③ 地域人材を活用した授業や学習活動に取り組み、「めざす子ども像」の実現をともにめざす。

### (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ① 「めざす子ども像」を具現化するための授業づくりについて、実践を通して学び合う。
- ② ICTの活用について、全教員で子どもとともに学びを進めていく。  
・ 探究的な学習を意識した授業づくり ・ プログラミング教育 ・ オンライン英会話
- ③ 家庭と連携して、家庭学習の習慣化を図り、学力の定着とやる気の向上をめざす。

### (4) 教職員の勤務時間縮減及びコンプライアンス遵守に向けた取組の推進

- ① 定時退校日の設定や会議時間の短縮に取り組むことにより、時間を意識した働き方の推進を図る。
- ② 学校のビジョンを明確にし、業務内容をビジョンに沿って考えていくことで、職場の支え合える環境づくり、業務内容の精選を図る。  
○ 1人当たりの月平均時間外労働 19時間 ○ 年 360時間を超える時間外労働者数 0人  
○ 月 45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人 ○ 1人当たりの年間休暇取得日数 22日  
○ 設定日の定時退校職員の割合 80% ○ 60分以内に終了した放課後開催の会議の割合 70%
- ③ 服務規律等に関する発信を定期的に行うとともに、コンプライアンスミーティングを実施する。